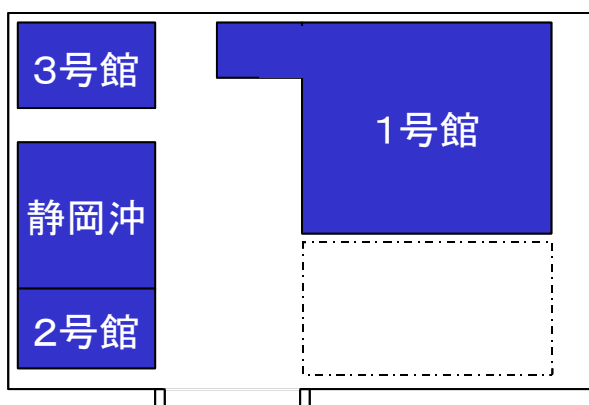


2004年 沖電気沼津地区環境レポート



目次

沼津地区の概要	3
---------	---

沼津地区の環境年表	3
-----------	---

1 . ご挨拶	4
2 . 環境方針	5
3 . 沼津地区の環境活動推進体制	6
4 . 環境目標と03年度実績	6
5 . 環境負荷低減活動	7
6 . 環境配慮型製品の開発	8
7 . 環境リスクマネジメント	8
8 . 環境教育及び訓練	9
9 . 地域社会への貢献活動	10

◆沼津地区の概要◆

沼津地区は、沖電気工業(株)ディフェンスシステム本部(沼津生産センタ)、静岡沖電気(株)、並びに関連企業(沖物流センタ沼津支所、沖デベロップメント沼津支店、GOF他)から構成されています。

	沖電気工業(株)	静岡沖電気(株)
1)所在地	静岡県沼津市大諏訪688	静岡県沼津市大諏訪681-1
2)工場設立	昭和55年	昭和55年
3)従業員数	310名	180名
4)敷地面積	16400㎡(合計)	
5)延床面積	16000㎡	3000㎡
6)用途地域	工場地域	
	①大気汚染防止法:指定区域外	
	②騒音規制法:第四種区域	
	③振動規正法:第二種区域	
	④悪臭防止法:A区域	
7)エネルギー管理指定	指定無し	

沼津地区の環境年表 要点

沼津地区環境関連の事項		環境関連法の動き		
1979	沼津工場1号館竣工 (静岡沖は操業中)	1979		
		1980		
		1981		
		1982		
		1983		
1983	メッキ工場廃止(静岡沖)	1983		
		1984		
		1987		
		1988		モントリオール議定書発行
		1989		
1992	フロン(洗浄用)全廃	1991	リサイクル法制定	
		1992		
		1993		
1993	1-1-1トリクロロエタン(洗浄用)全廃	1993		
1994	東京工場集約	1994	容器包装リサイクル法制定	
		1995		
1996	ゴミ焼却廃止	1996	環境アセスメント法制定	
1997	ISO9001認証取得 ジクロロメタン(洗浄用)全廃	1997	京都会議(COP3)開催	
1998	ISO14001認証取得	1998	家電リサイクル法制定	
1999	ハロン消火器全廃(二酸化炭素消火器へ)	1999		
2001	重油ボイラー、地下重油タンク廃止(天然ガス化) 電動フォークリフト導入	2000	循環型社会形成促進基本法制定	
		2001	PRTR法施行	
2002	廃棄物ゼロエミッション達成	2002	環境保全のための意欲の増進及び 環境教育の推進に関する法制定	
		2003		

ご挨拶

沖電気沼津地区環境レポートを発行するにあたり
当地区を代表しましてご挨拶申し上げます。

当地区は沖電気沼津地区と静岡沖電気(株)で構成されており、霊峰富士と駿河湾に囲まれた自然豊かな静岡県東部の沼津市に位置しております。
1942年より水中聴音機の製造を開始して以来、海洋計測機器、航空管制システム道路管制システムや通信機器制御、水中音響機器などの生産拠点として操業してまいりました。

1998年環境マネジメントシステムの認証を取得し、今年で7年目の環境活動となります。活動当初は、電力・廃棄物・紙などの削減を重点施策として着実に削減目標を達成してきましたが、循環型社会形成推進基本法の制定、国によるリサイクル関連法グリーン購入法などの法整備が強力に進められてきており、企業としての確たる対応が迫られております。

このような背景をふまえ、2002年度の沼津地区環境活動では、継続施策である電力、紙などの削減をはじめ、従来埋立て処分をしていた廃棄物のリサイクルについて重点的に取組み、廃棄物のゼロエミッションを達成しました。
ゼロエミッション化には徹底した分別廃棄が不可欠ですが、これを達成できたのは一重に全構成員の環境に対する意識の向上によるものと思います。
又、環境負荷低減製品の開発など、循環型社会の一役を担う活動はもとより、中伊豆の森林再生ボランティア、海岸清掃や施設の提供、沼津市環境関連イベント参加など地域への積極的環境活動も展開してまいりました。

国内ではPRTR法の施行とデータ開示、EUではRoHS指令による化学物質の規制強化等、各国で地球環境改善の取組みが更に重要となってきております。
今後も環境ISOの柱であります『継続的改善』を、沼津地区一丸となって推し進める所存であります。

この報告書によりまして当地区の環境活動に対する姿勢と取組みを皆様方にご理解頂くとともに率直なるご意見を頂ければ幸いと存じます。

SSCディフェンスシステム本部
沼津生産センタ長

長谷川 徹

環境方針

沼津地区では以下の様な環境方針を策定し、この方針を基に環境活動に取り組んでいます。

基本理念

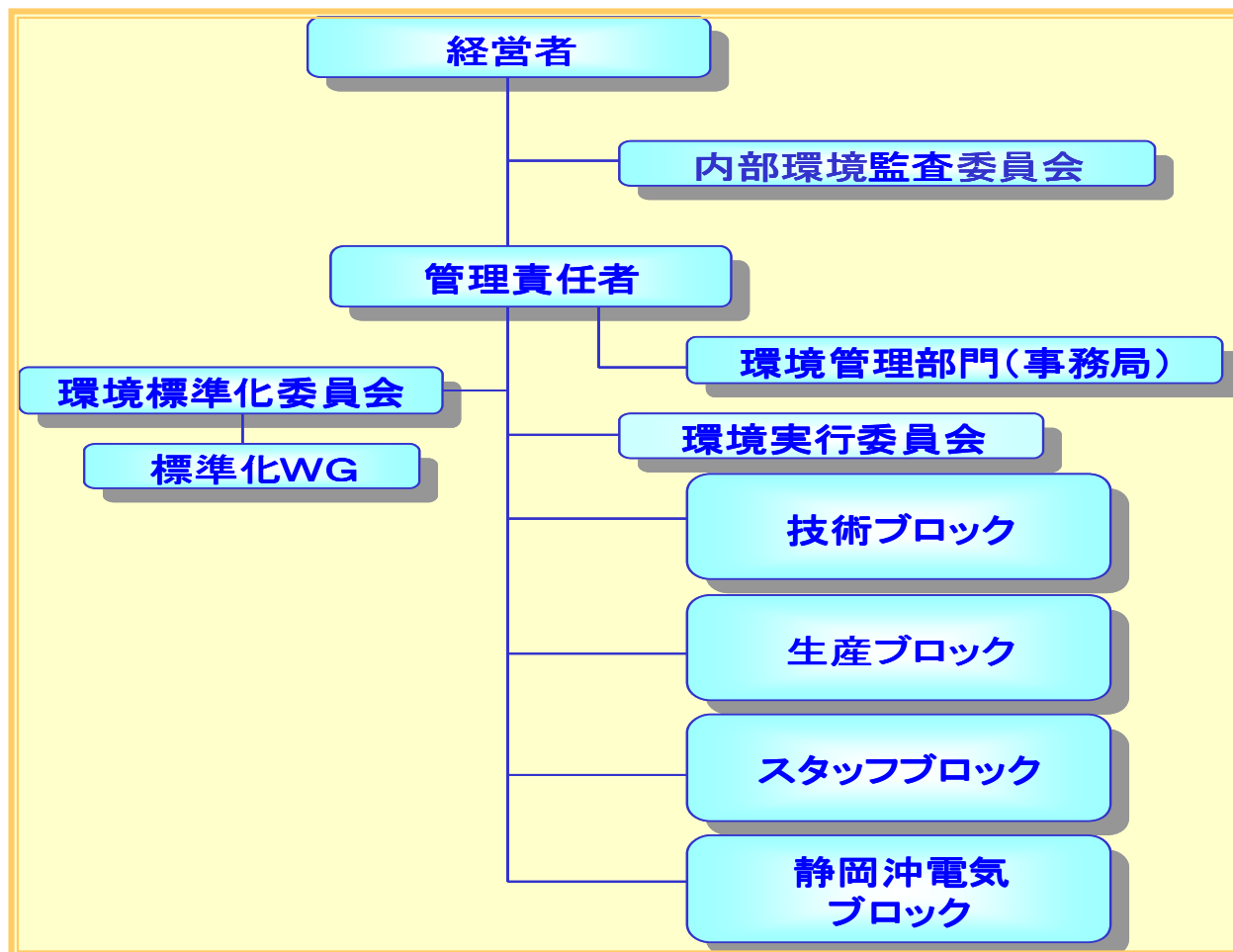
当地区は、富士と駿河湾を間近に、自然に恵まれた沼津の地にふさわしい『環境を愛する企業』として、人類共通の重要課題である『地球環境の改善』を企業活動のあらゆる面において積極的に展開すると共に、一人一人がその継続的改善を推進することを基本理念とする。

行動指針

当地区の主要製品である通信・情報・計測機器を開発・設計／製造していることをふまえ沖電気工業㈱の環境基本方針に従い、以下の方針に基づき環境管理を行う。

1. 当地区の活動、製品、サービスがかかわる環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善をはかる。
2. 環境関連の法律、規制及び協定、その他要求事項を遵守するとともに、自主管理基準を設定し、環境負荷の削減に努める。
3. 設計・開発段階に於いて、商品の流通、使用、廃棄の各段階における環境影響に配慮し、商品の省エネルギー・リサイクル化などの環境負荷を少なくした製品設計を行う。
4. 省エネルギー化、省資源化を行い、循環型社会の形成に努める。
5. 緑化活動などの環境改善活動を通じて、地域社会との積極的コミュニケーションを図る。
6. この環境方針は、当地区の関係・関連会社を含む全部門・全構成員に周知する。
7. 環境方針は、要求に応じて外部へ公開する。

沼津地区の環境活動推進体制



環境目標と 2003年度実績

分類	環境目標	2003年度実績
化学物質の削減	有害化学物質含有の材料(接着剤)の代替をする	代替済み (全製品に適用)
省エネルギー化 (CO2・資源削減)	電力使用量(照明・設備他)を前年度比で0.5%以上(1.6万Kwh以上)削減する	約2%(6万Kwh)削減
環境負荷を少なくした製品設計	新製品の設計において「小型軽量化、省電力化、有害物質不使用、リサイクル化、分解容易化」を実施する	適用製品、7機種
省資源化	1) 産業廃棄物「ゼロエミッション」の継続 〈ゼロエミッション=リサイクル率99%以上〉 2) 紙(コピー用紙等)の使用量を前年度比で1%以上(A4サイズ 3万枚)削減する	1) ゼロエミッションを維持 (年間リサイクル率: 99.7%) 2) 約4%削減(A4で11.4万枚)

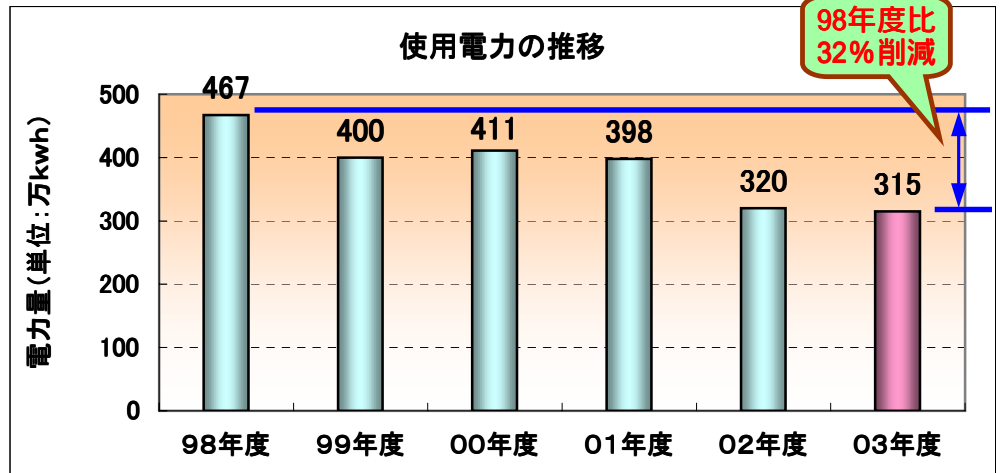
環境負荷低減活動

1. 省エネルギーの取組み

地球温暖化防止に貢献するため省エネルギーに取り組んでいます。
沼津地区の使用I補給*である電力の省エネに取り組み、1998年度比で 32%の削減を行いました。

主な取組みは次の通りです。

- * 昼休み・退社時の消灯
不用品箇所間引き
- * OA機器節電
(PC、プリンタ、サーバ他)
- * 空調温度の厳守
(夏28、冬20)
- * 設備立ち上げ時間の見直し
- * 不用品設備の電源OFF

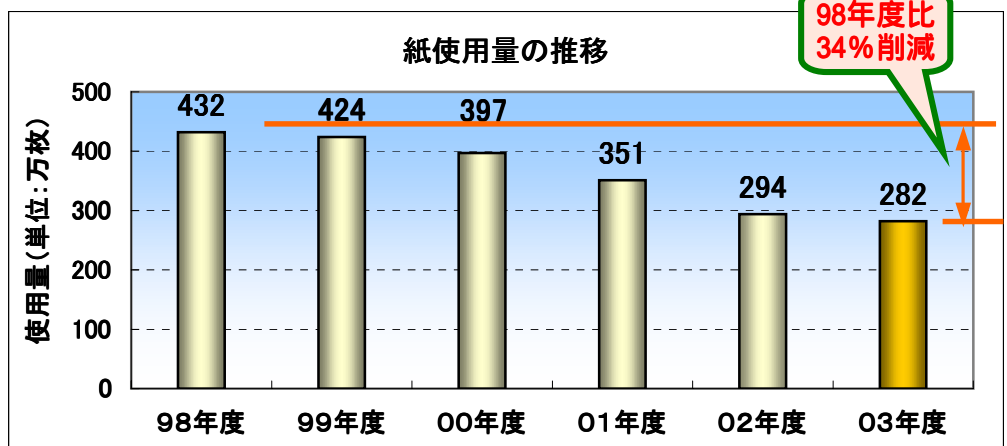


2. コピー紙など紙の使用量削減

森林資源保護の一環として紙類の使用削減に取り組み、1998年度比で、34%の削減を行いました。

主な取組みは次の通りです。

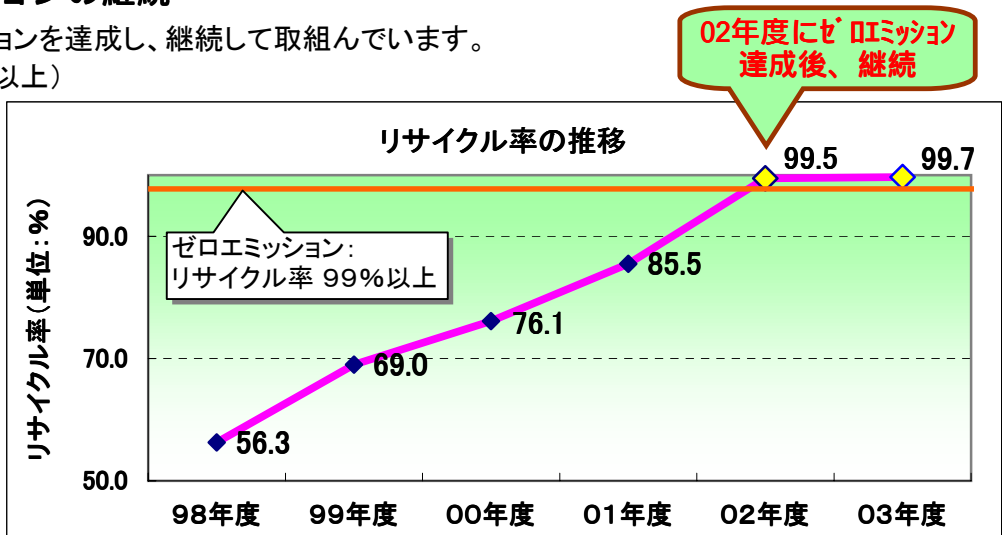
- * 両面コピー、裏紙使用
- * 伝票関係の電子化
- * 配布資料の電子化
- * 会議資料の電子化



3. 廃棄物ゼロエミッションの継続

02年度に廃棄物ゼロエミッションを達成し、継続して取り組んでいます。
(ゼロエミッション=リサイクル率 99%以上)

徹底した分別をしています。

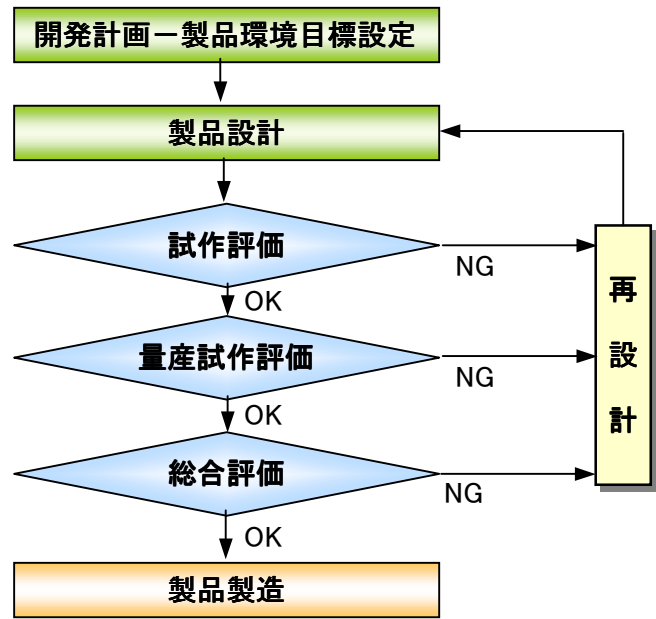


環境配慮型製品の開発

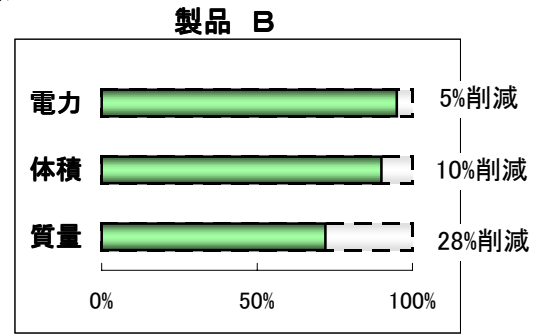
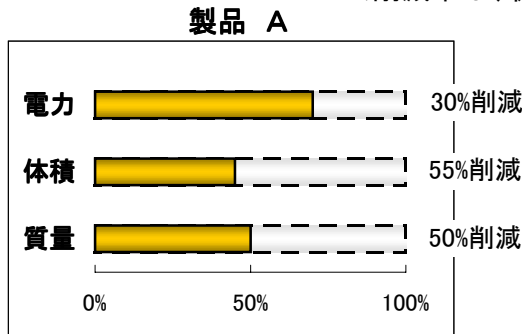
製品設計段階の評価『製品アセスメント実施規定』の概要フロー

製品は使用時には電力を消費し使用済み後は廃棄物になり環境へ大きな影響を与えます。
 環境への負荷の少ない製品を提供するためには、設計段階において、省エネ、省資源、リサイクル性など製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価する必要があります。

このため、沼津地区では製品設計段階に於ける環境影響度の評価方法を制定し、新機種の設計に積極的に適用する事により、環境負荷の少ない製品を提供しています。



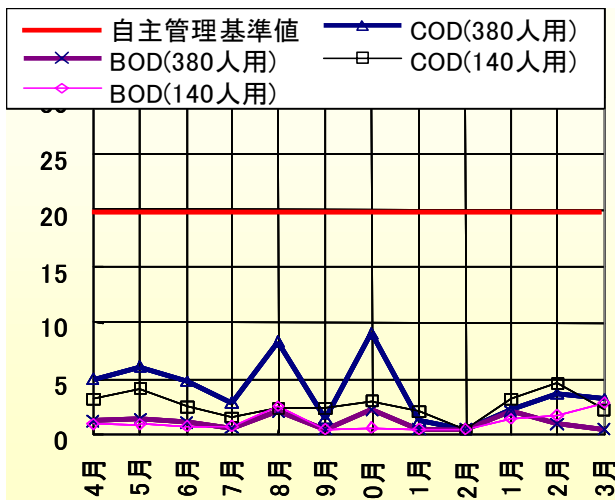
2003年度環境負荷を少なくした製品設計例 <削減率は、従来機種との比較>



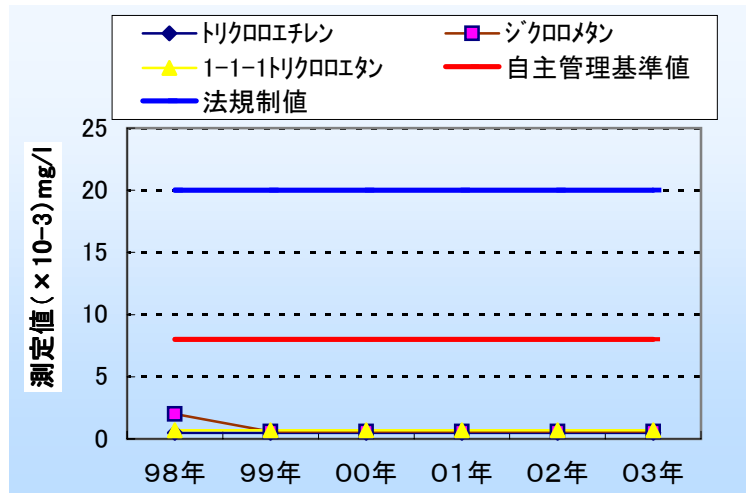
環境リスクマネジメント

法規制値より厳しい『自主管理基準値』を設定し、毎年継続して工場排水、地下水、その他を監視環境リスクマネジメントを実施しています。(以下 監視例)

工場廃水監視



地下水汚染監視



◆内部監査員養成教育

01年度より環境マネジメントシステムの強化及び環境活動のキーマン育成を目的として内部環境監査員養成教育を積極的に行っています。

01年度 03年度

- ・主任環境監査員養成コース修了者: 4名→11名
- ・内部環境監査員養成コース修了者: 21名→41名



◆環境情報配信による啓蒙

『沖沼エコ情報』の配信

従業員へ向けて03年度より定期的に配信、活動成果、イベント、外部状況や法律、身の回りの環境知識を紹介しています。
(4回/年)

沖沼エコ情報

沖沼エコ情報<04-1号> 発行部門:品質管理課(環境ISO事務局:海辺)
沼津地区環境ホームページにも掲示してあります。http://www.sips.oki.co.jp/iso14000s/kankyouhp/khp.html

6月 は 環 境 月 だ す

見直してみましよう、エコライフ

《ちょっとした電気の点けっぱなし、人力で発電すると...》

テレビの点けっぱなし、人力で(身近な自転車)で発電すると「50台」必要になります。

(テレビ29型=150W(平均))
 自転車発電機3W 150÷3=50)

自転車50台

緊急時の訓練

特定した作業に於ける緊急事態を想定して(運搬時の薬品こぼし他)、その未然防止の手順・発生した場合の処置を手順書として作成。これに基づいた実施訓練を定期的を実施しております。



想定訓練 薬品こぼしの処置

危険物倉庫への出し入れ時、薬品をこぼしたと想定し、一斗缶に水を入れて転倒させ、吸収材にて緊急処置の訓練を実施。

地域社会への貢献活動

地域環境活動への積極的参加として、地区自治会の一斉清掃に合わせ、会社周辺道路の側溝清掃・雑草刈り
駐車場清掃・雑草刈り 及び、海岸清掃などを定期的に行っています。

又、中伊豆森林再生（ボランティア活動）、沼津市主催環境イベントへの積極的な参加活動も行っています。



会社周辺・駐車場清掃 < 5月 >



片浜海岸・千本浜海岸清掃 < 6月・7月 >



中伊豆森林再生 < 10月 >



沼津市主催：市内企業の環境活動紹介へ出展 < 2月 >
(沼津キラッセ:フリーマーケットの一画)

問い合わせ先

410-0873 静岡県沼津市大諏訪688

沖電気工業株式会社 ティェンシステム本部(沼津地区) 品質管理部 品質管理課
TEL: (直)055-926-6341 FAX: 055-926-6420 e-mail: watanabe768@oki.com